

## § 1 両市の行政サービスの水準

### ◇概要

市民生活に直結し、関心の高い行政サービスについて、両市の状況を持ち寄り、サービスを維持・向上させていく場合の財政的な負担等を整理するものです。全ての事務事業を比較調整するものではありませんので、市民生活での重要度や関心度(日常業務で照会や問い合わせの多いもの)を考慮して抽出したものを研究します。

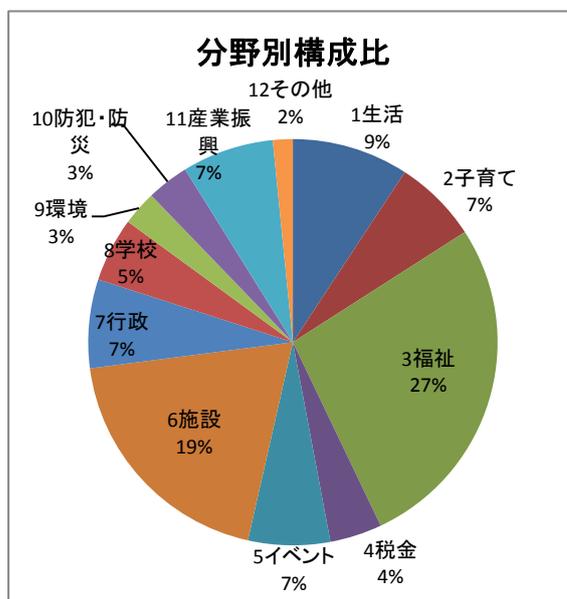
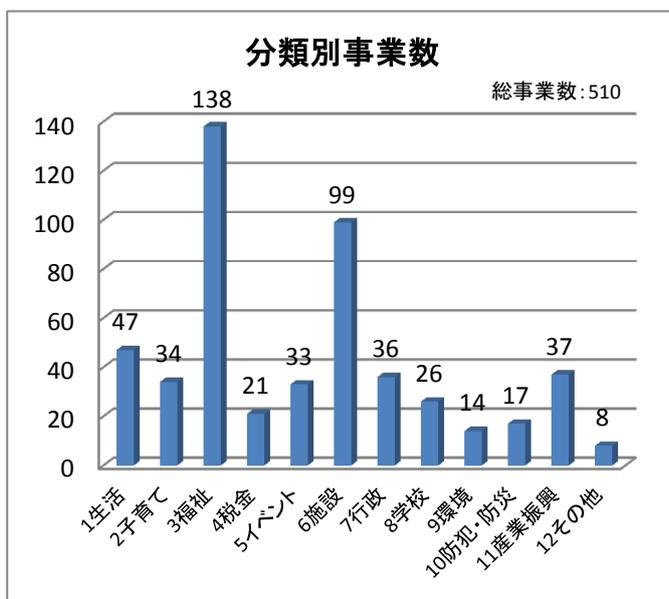
これまでに庁内全部署に該当事業の抽出作業を依頼し、報告のあったサービス内容を両市事務局で突合作業を行いました。ここまでの集約結果をご報告いたします。

◇ワーキンググループ（以下「WG」と表示する。） 1：【桐生市】広域調整室【みどり市】企画課  
 ※WGの構成は現状中心となっている部署です。今後の研究過程の中で変更する場合があります。

### ◇WG1での作業状況〈集約結果の概要〉

〈抽出事業数〉：【桐生市】 261事業 / 【みどり市】 249事業

※1両市が抽出した事業は合計で510事業でした。この抽出事業を12分野に分類し、調査結果の傾向等を確認しました。  
 ※2この抽出結果は、1次調査の集約結果でありますので、今後の両市による調整過程の中で事業数や分野等は変動する場合があります。



### ◎抽出事業（サービス）の一例

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| ①生活：住民票、延長窓口、バス、スズメ蜂駆除       | ⑦行政：自治会・行政区運営、消防団    |
| ②子育て：医療費、保育料、妊婦検診、不妊治療       | ⑧学校：スクールバス、奨学金、就学援助  |
| ③福祉：介護保険料、敬老祝金、人間ドック、福祉タクシー券 | ⑨環境：太陽光、浄化槽、ゴミ袋、分別収集 |
| ④税金：固定資産税、国民健康保険税、証明書        | ⑩防犯・防災：防災情報伝達、交通指導員  |
| ⑤イベント：まつり、スポーツ大会、成人式         | ⑪産業振興：利子補給、資金貸付、鳥獣対策 |
| ⑥施設：市営住宅、水道料金、体育館利用料金        | ⑫その他：パブリックコメント、公用車広告 |

### ◇今後の作業方針案

- ①集約結果を再度各部署に戻し、両市の抽出状況を確認の上、不足部分を追記する。
- ②それぞれの事業について、両市が一つになった場合を想定し、サービスを維持向上させるための財政的負担等について検討する。
- ③まとまった調整内容からサービス水準を高める場合の総体的な負担を把握し、WG3及びWG4の研究に反映させる。

## § 2 両市の共通する課題・地域の抱える課題の解決

### ◇概要

両市それぞれが抱えている懸案事項や両市が共通して直面している課題等を抽出し、両市でその解決策と財政面の影響について研究するものです。

これまでに庁内全部署に該当事業の抽出作業を依頼し、報告のあったサービス内容を両市事務局で突合作業を行いました。

### ◇WG2：【桐生市】企画課・都市計画課・総務課(教育)・学校教育課・スポーツ体育課・広域調整室 【みどり市】都市計画課・教育総務課・学校教育課・社会教育課・企画課

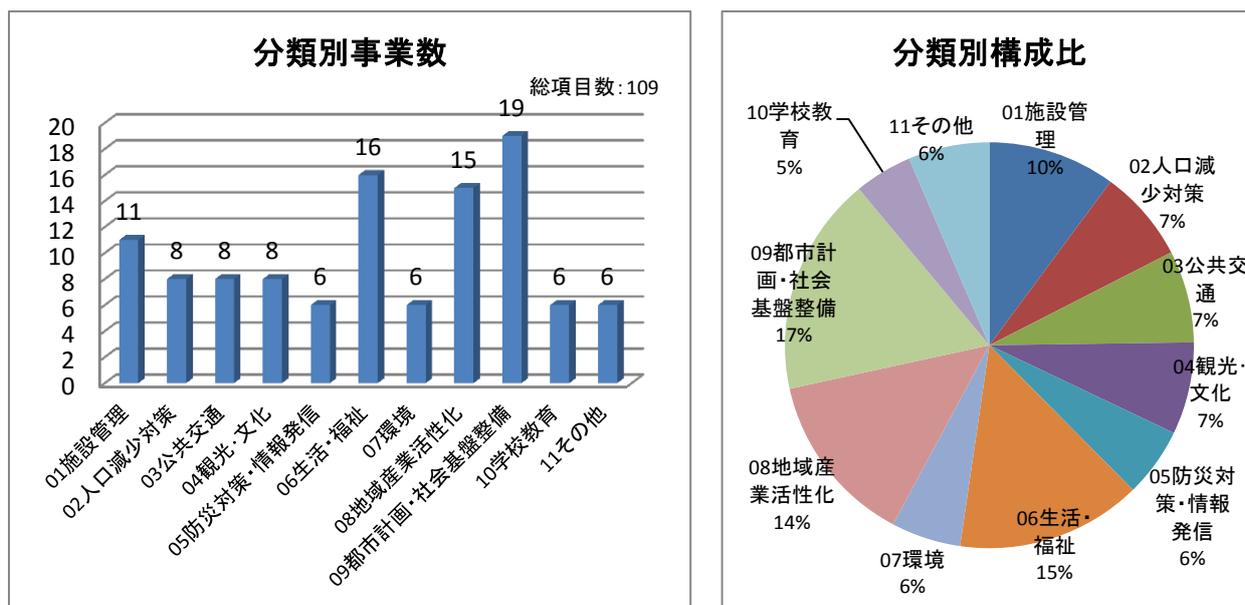
※WGの構成は現状中心となっている部署です。今後の研究過程の中で変更する場合があります。

### ◇WGでの作業状況〈集約結果の概要〉

〈課題項目数〉：【桐生市】62項目 / 【みどり市】47項目

※1 報告のあった課題項目数は合計で109項目でした。この課題項目を11分野に分類し、課題のジャンルや傾向等を確認しました。

※2 一次調査の集約結果でありますので、今後の両市による調整過程の中で項目数や分野等は変動する場合があります。



### ◎両市が共通して問題意識を持っている項目の一例

- ①市役所庁舎の老朽化：有事の際には災害対策本部が設置される庁舎の老朽化対策
- ②人口減少対策：少子高齢化の急速な進展と地域間の格差拡大
- ③公共交通：交通弱者の移動手段の確保と、鉄道・バス等の効率的な接続
- ④災害情報伝達：災害発生時の避難情報や災害発生状況を迅速かつ的確に伝達するシステムの構築
- ⑤土地利用規制：非線引き都市計画区域における土地利用規制（用途の混在化、市街地の拡散）

### ◇今後の作業方針案

- ①両市が共通して問題意識を持っていた項目を優先課題として研究を進める。
- ②研究作業については、WG2に研究課題に関わる関係部署を加えて、課題の検討を進める。
- ③検討結果については事務局が集約し、WG3及びWG4の研究に反映させる。

### § 3 都市経営、行政運営からみた将来像

#### ◇概要

行政サービスの水準(WG1)や両市の抱える課題(WG2)、都市整備の推進(WG4)に伴う財政的負担等、各研究項目の検討成果も踏まえて、現在の行政サービス水準を維持・向上しながら、今後の市政をどのように運営していくか、その方向性や展望を研究します。

#### ◇WG3：【桐生市】総務課・財政課・企画課・広域調整室

【みどり市】総務課・財政課・企画課

※WGの構成は現状中心となっている部署です。今後の研究過程の中で変更する場合があります。

#### ◇WGでの検討状況

##### ■財政状況に係る基礎資料の収集について

・総務省で公開される決算カードの各項目をベースとした資料の作成

##### ■組織機構・行政評価手法に係る基礎資料の調製について

・事務分掌規則・行政組織機構図等に基づき、両市の組織体制（事業別人員配置・事務分担等）を比較した資料の作成

#### ◇研究方針案

各WGでの研究成果を踏まえた検討が必要なため、現在は、財政や組織等に関する基礎資料を収集・精査している状況です。

基礎資料の収集を進め、現状把握を行うとともに、WG1, 2, 4の研究結果及び研究会からの指示に基づきながら、両市が一体となった場合の各事務事業における人員配置や財政シミュレーション等の作成に向けた研究を進めます。

### § 4 両市を一体的に考えた都市デザイン

#### ◇概要

両市を一体的に捉えた場合の公共施設の配置や土地利用、基盤整備等のまちづくりの考え方を研究します。先行するサービス水準(WG1)や課題抽出調査(WG2)の研究成果も踏まえて、両市の総合的な地域づくりを研究します。

#### ◇WG4：【桐生市】企画課・都市計画課・総務課(教育)・学校教育課・スポーツ体育課・広域調整室

【みどり市】都市計画課・教育総務課・学校教育課・社会教育課・企画課

※各WGの構成は現状中心となっている部署です。今後の研究過程の中で変更する場合があります。

#### ◇WGでの検討状況

・WG会議において下記基礎資料を交換し、研究を進める上での課題と当面の準備作業の確認を行っています。

■ぐんままちづくりビジョン「桐生市アクションプログラム」…桐生市(概要版)

「みどり市アクションプログラム」…みどり市(本編)

■教育関係施設台帳(一覧写し)、スポーツ施設一覧及び位置図…桐生市

教育関係施設設置一覧…みどり市

※なお、本研究項目については、公共施設全般について検討を進めるものですが、まずは教育施設に関する基礎資料を確認しました。

#### ◇研究方針案

・先行する両市共通課題の調査(WG2)結果から、都市整備方針等に影響を及ぼす可能性のある内容（公共施設の老朽化・公共交通の接続・土地利用規制等）については、本WGでも研究を進める。

・両市の公共施設の中で、老朽化が激しく改修や再配置が必要な施設について検討する。

・最終的には、都市整備の方針図（ポンチ絵）をまとめる。

## § 5 地方中枢拠点都市制度に対応した地域のあり方

### ◇概要

相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が、近隣の市町村と連携し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する場合に、必要な財政措置を講じる制度です

圏域内において先導的な地位を確立し、両市が将来にわたって輝きを放つ地域であり続けるために、本制度における対応策等を研究するものです。

◇WG5：【桐生市】広域調整室【みどり市】企画課 ※各WGの構成は現状中心となっている部署です。今後の研究過程の中で変更する場合があります。

### ◇WGでの検討状況

#### ■制度概要の把握

- ・コンパクト化とネットワーク化により活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的に、連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結し、連携中枢都市圏ビジョンを策定した連携中枢都市及び連携市町村の取組に対して、必要な財政措置を講じる。
- ・中心都市の主な要件：指定都市又は中核市、昼夜間人口比率1以上、※三大都市圏外  
※三大都市圏
  - ・首都圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
  - ・中京圏：愛知県、岐阜県、三重県
  - ・近畿圏：大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県
- ・平成26年12月27日に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことを受けて「地方中枢拠点都市圏」は「高次地方都市連合」と「都市雇用圏」と都市圏概念を統一し、平成27年1月28日に「連携中枢都市圏」に名称変更されました。  
(これを受けて、本研究項目についても「連携中枢都市圏制度に対応した地域のあり方」に名称変更したいと考えます。)
- ・◎連携中枢都市の取組に対する財政措置

財政措置		(中心都市)	(連携中枢都市)	(周辺都市)	(連携市町村)
普通交付税	「経済成長のけん引」及び「高次都市機能の集積・強化」	○	○	—	—
特別交付税	「生活関連機能サービスの向上」	○	○	—	—
	「生活関連機能サービスの向上」「経済成長のけん引」及び「高次都市機能の集積・強化」	—	—	○	○
	「外部人材の活用」 産業振興、医療サービスの向上、ICTの効果的活用などの取組を進めるため、圏域外から専門性を有する民間又は行政分野の人材を確保し、活用する経費	○	○	○	○
	病診連携等による地域医療の確保	○	○	○	○
	へき地における遠隔医療	○	○	○	○
算定要素の追加	連携中枢都市圏の形成により、辺地度点数の積算に当たって連携中枢都市までの距離を算定することを可	○	○	○	○

◎両毛広域圏構成自治体の状況

	自治体名	人口 (H27.1 末現在)	面積(k ㎡)	昼夜間人口比率 (H22 国調)	備考
栃木県	足利市	150,135	177.82	0.971	
	佐野市	121,864	356.07	<b>1.000</b>	
群馬県	桐生市	118,362	274.57	0.982	
	太田市	<b>222,185</b>	175.66	<b>1.059</b>	
	館林市	78,076	60.98	0.986	
	みどり市	51,850	208.23	0.899	
	板倉町	15,394	41.84	0.905	
	明和町	11,386	19.67	<b>1.031</b>	
	千代田町	11,697	21.76	<b>1.028</b>	
	大泉町	41,028	17.93	<b>1.111</b>	
	邑楽町	27,137	31.12	0.897	
圏域外	伊勢崎市	<b>211,244</b>	139.33	0.989	

◇研究方針案

- ・両市が一つになった場合でも中心都市の要件を満たさない状況があり、人口減少・少子高齢化の加速と相まって、本制度の推進が図られた場合でも、圏域内において先導的な地位を確立し、将来にわたって輝きを放つ地域であり続けるための方策等を研究します。
- ・東毛地域・両毛地域といった圏域を想定し、立地条件の優位性(道路網や鉄道網等)や中心都市・周辺都市との連携による機能・魅力の強化策等、対応方針を研究します。